

最新看護技術周知のための WEB ネットワーク構築の試み

—高齢者ケアにかかわるネットワークづくり—

原 等子, 永吉雅人, 角山裕美子, 須藤陽子, 大郷みさき, 村田陽子

新潟県立看護大学 看護学部 看護学科

キーワード: e ラーニング, 多職種協働, 高齢者, 看護技術, EBN

目的 本学の位置する地区は過疎地域にあり都市部へのアクセスが良いとは言えず, 高齢者にかかわる看護職だけでなく医療や福祉に携わる専門職の各種学会や研修会などによる情報が得にくい現状がある. そのため最新の看護技術や介護技術の導入が滞りやすい. 特に高齢者ケアにおいては慢性的な人手不足があること, 職員の教育背景がさまざまであることから根拠のあるケア実践に結びつきにくい. 高齢者ケアは, 医師や看護職だけではなく, 介護職や歯科関係職種, リハビリテーション関連職種, 栄養関連職種など多職種との連携協働も課題となっており, 情報交換, 共有は急務の課題である.

そこで, 高齢者ケアにおける多職種連携促進のための情報交流を目指した WEB ネットワークを構築し, その活用可能性を探る. 特に, 摂食・嚥下, 口腔ケア, 栄養ケア, リハビリテーションなどをキーワードに高齢者ケアにかかわる情報発信と交流を行うこととした.

方法 ホームページは 2009 年 6 月に新潟県立看護大学 Moodle 内に開設した「上越高齢者ケアネットワーク」である. 2010 年度は, 新潟県下の病院, 介護老人保健施設, 介護老人福祉施設, 認知症対応型グループホーム, 小規模多機能施設, 地域包括支援センター, 在宅介護支援センター, 看護学校など 840 箇所に 4 か月おきに郵送で HP (ホームページ) の周知を図った. また, 2010 年 5 月, 9 月, 2011 年 2 月に本学で開催された関連する研修会で告知を行った. Moodle はオープンソースの LMS (Learning Management System) であり, コンテンツ配信, 受講管理, コミュニケーションツールである. 評価はアクセス状況分析と研修会参加者へのアンケート調査により行った.

結果 HP の閲覧数については図 1 のとおりである. ただし, 2011 年 3 月度は, 2011 年 3 月 15 日 10:00 現在までの集計とした. また, コンテンツ (閲覧可能な資料) の整備状況と閲覧状況は表 1 のとおりである. これにより資料を HP に掲載すると, まもなく, アクセス数も増加しており, 常々閲覧・利用して頂いていることが確認できる. また, 本 HP に関連する研修会に参加した者に 2010 年 2 月, 5 月, 9 月, 2011 年 2 月に HP アクセス状況について調査した結果, 閲覧経験者は 321 件中 28 件 (8.7%), 充実に向けた希望内容としては今後の研修会開催などの予定, 事例報告, 看護師に向けた内容, 専門職の垣根を取った高齢者のことを考える内容などの意見があった. 閲覧していない理由は図 2 のとおりである. 見る時間がない, パソコンが苦手, インターネット環境がないなどユビキタスの課題が目立った.

考察および結論 昨年度の活動よりも確実に閲覧人数の増加が認められ, 2 年間のネットワーク作りがうまくいっていると評価できる. しかしながら, 昨年度より課題としていた点として, ほとんどの活動は閲覧のみに限られており, 今後, 気軽に利用者自らが情報発信を行うことのできる環境を整える必要があるとしていたが, その点については, 今後の課題として残されている.

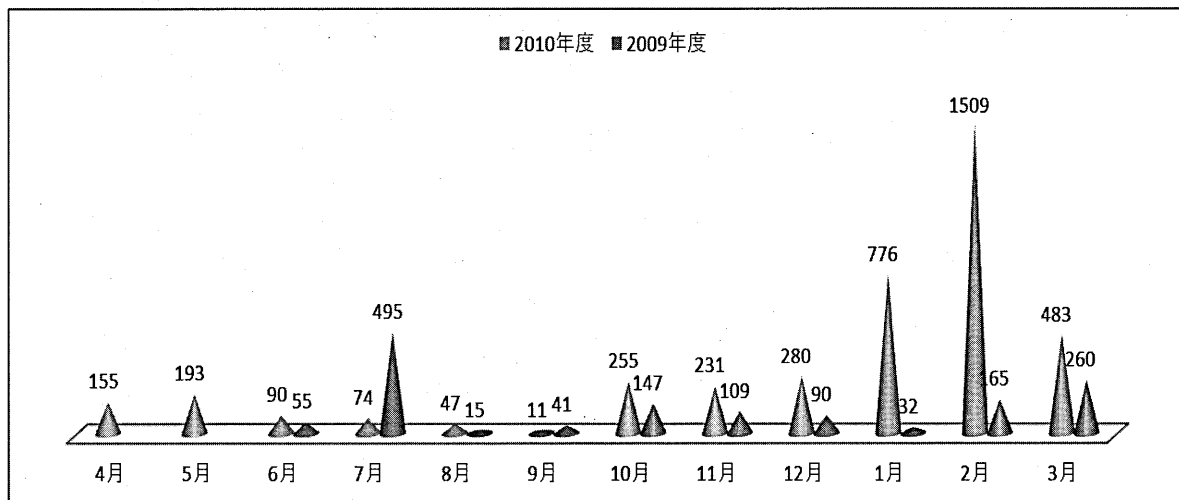


図1 ホームページ閲覧人数 (人/月)

表1 コンテンツ閲覧アクセス数

アップデート日	アクセス数	2011/3/15	現在
2011/2/24	高齢者の口腔ケア 資料 (原等子)		13
2011/2/24	生きる力を支える口腔ケア (上越市国民健康保険枚診療所 杉田佳織)		13
2010/10/23	食機能を再獲得するためのケアのポイント (千葉県立保健医療大学 千葉由美)		65
2010/10/23	高齢者の摂食・嚥下障害のアセスメント (千葉県立保健医療大学 千葉由美)		42
2010/10/1	排泄ケアに関する実践報告 (上越地域医療センター病院 丸山サチ子)		47
2010/10/1	高齢者ケアの新時代 (青梅慶友病院看護介護開発室長 桑田美代子)		23
2010/6/29	介護老人保健施設 和久楽での看とりへの取り組み (和久楽ターミナルケア委員会委員長 加藤美紀)		25
2010/6/29	高齢者の転倒予防 - 転倒・骨折の実態と予防戦略 - 研修会参加報告 (須藤陽子)		26
2010/5/6	シンポジウム:生活機能向上に資する支援機器の開発・研究にむけて 参加報告(永吉雅人)		33
2010/3/15	口腔機能評価と食支援 (上越訪問口腔ケアセンター 薄波清美)		41
2010/3/15	高齢者のせん妄発症要因と予防的かかわり・発症後のケア (菅原峰子)		73
2010/2/18	排便ケア試行事例 (原等子)		70
2010/2/18	やすらぎタイムへ行きませんか? (上越地域医療センター病院 矢澤紀子)		42
2010/2/18	高齢者の口腔管理 (ながの歯科医院 山崎喜代子)		44
2009/10/30	排便ケア (便秘の改善) ケアプロトコル (日本老年看護学会厚生科研究班)		21
2009/6/22	上越歯科医師会 訪問口腔ケアセンターの活動		14

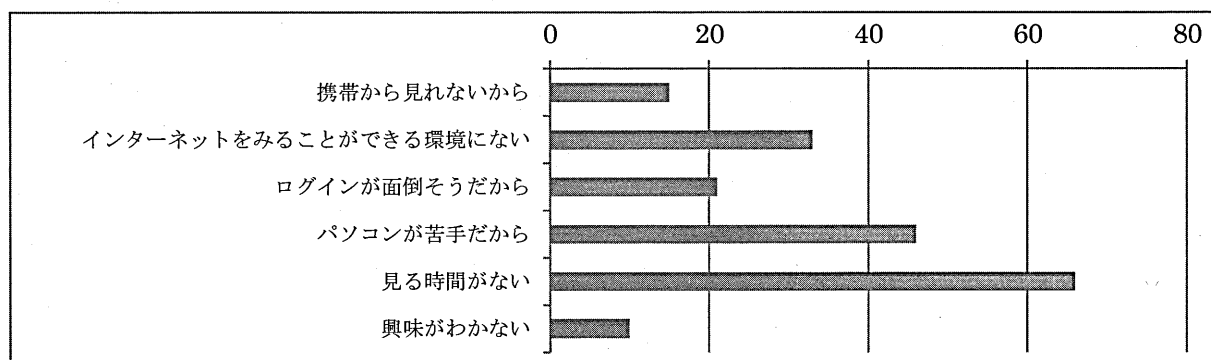


図2 HPを閲覧していない理由 (件数・複数回答) N=321